



P.28～31 確認問題 A～D

P.28 確認問題 A

- (1) ① going to help ② will help
 (2) ① going to watch ② Will, watch

P.29 確認問題 B

- (1) can (2) be able (3) Can[Will, Could, Would] you (4) May[Can] I

P.30 確認問題 C

- (1) must (2) mustn't[cannot, can't] (3) have to (4) has to (5) should

P.31 確認問題 D

- (1) Shall I (2) Shall we (3) Would[Could] you (4) Would you (5) would, to

【解説】

確認問題 B

- (3) Can[Will] you ~? / Could[Would] you ~? で依頼を表す表現。

確認問題 C

- (1) 「～しなければならない」は must。
 (2) must not の短縮形は mustn't で禁止を表す。
 (3) don't[doesn't] have to ～ 「～する必要はない」と mustn't ～ 「～してはいけない」の違いに注意。
 (4) 主語が 3 人称・単数で現在形だから has to を使う。

確認問題 D

- (3) Would[Could] you ~? は Will[Can] you ~? よりもていねいな依頼を表す。
 (4) ものを勧める場合は、疑問文でも any ではなく some を使うことにも注意。

P.32 STEP 1

- 1** (1) I am going to do
 (2) Are you going to join
 (3) Bob isn't going to wash
2 (1) will get (2) will be (3) Will (4) will not (5) won't
3 (1) Will you (2) Will you / All right (3) Will you / thank you

【解説】

- 1** 〈be 動詞(am, are, is) + going to + 動詞の原形〉を使った未来の文。
2 〈will + 動詞の原形〉を使った未来の文。
 (2) is の原形は be であることに注意。
 (5) will not の短縮形 won't を使う。
3 (1) この will は意志を表す。
 (2) Will you ~? は「～してくれませんか。」と依頼を表す(= Can you ~?)。肯定の答えは All right. / Sure. / OK. など。
 (3) この場合の Will you ~? は依頼ではなく、勧誘を表す。断るときは No, thank you. を使う。

P.33

- 4** (1) can play (2) Are, able (3) cannot[can't] (4) couldn't (5) will be able
5 (1) ア (2) ウ (3) イ (4) ウ
6 (1) have to (2) has to (3) Do, have to (4) ① you must ② don't have to
 (5) had to (6) will have to

【解説】

- 4** (1) 「私の祖母は上手なピアニストです。」→「私の祖母は上手にピアノを弾くことができます。」
 (2) 主語の前に be 動詞を置く。
 (3) can の否定形は cannot。短縮形は can't。
 (4) can の過去形は could。could not の短縮形は couldn't。
 (5) will と can はどちらも助動詞で同時に使うことができないので、未来を表す文では can の代わりに be able to を使う。
- 5** (1) Can you ～? で「～してくれませんか。」という依頼を表す。
 (2)・(3) Can[May] I ～? は「(私が)～してもいいですか。」と許可を求めるときに使う表現。
 (4) この may は「～かもしれない」という推量の意味。
- 6** (1)・(2) must = have[has] to ～
 (3) have[has] to ～の疑問文は、〈Do[Does]+主語+have to ～?〉となる。
 (4) ② Must ～? 「～しなければなりませんか。」に対する否定の答えは No, ～ don't[doesn't] have to. 「いいえ、その必要はありません。」となる。No, ～ mustn't. は「いいえ、してはいけません。」と禁止の意味になる。
 (5)・(6) must には過去形や未来形がないので、have to を変化させて、had to(過去), will have to(未来)で表す。

P.34

- 7** (1) ここでサッカーをしてはいけません (2) 今、家にいるかもしれません
 (3) その計画について考える必要はありません (4) 生徒たちの言葉に耳を傾けるべきです
8 (1) Shall I / please (2) Shall we / let's (3) Could[Would] you
 (4) Would you (5) would like (6) I'd, to
9 (1) Please (2) Be (3) Don't (4) Let's

【解説】

- 7** (1) mustn't は「～してはいけない」と禁止を表す。
 (2) might は「(ひょっとしたら)～かもしれない」と〈可能性〉を表す。
 (3) don't have to ～は「～する必要はない」と〈不必要〉を表す。
 (4) should は「～すべきだ」「～したほうがいい」。なお、名詞の複数形(～s)を所有格(「～の」の形)にするとき、s のあとにアポストロフィだけをつける。students 「生徒たち」→ students' 「生徒たちの」
- 8** (1) Shall I ～? は「(私が)～しましょうか。」と申し出を表す表現。答え方は Yes, please. 「はい、お願いします。」/ No, thank you. 「いいえ、結構です。」など。
 (2) Shall we ～? は「(私たちは)～しませんか。」と勧誘を表す表現。答え方は Yes, let's. 「はい、そうしましょう。」/ No, let's not. 「いいえ、やめましょう。」など。
 (3) Could[Would] you ～? は Can[Will] you ～? よりもていねいな依頼の表現。
 (4) 〈Would you like+名詞 ～?〉は「～はいかがですか。」と飲食物などを人に勧める表現。
 (5)・(6) would like to ～は want to ～よりもていねいな表現。I would の短縮形は I'd。
- 9** (1) Will you ～? 「～してくれませんか。」→ 〈Please ～.〉「～してください。」〈依頼〉
 (2) You must ～. 「～しなければなりません。」→ 動詞の原形～. 「～しなさい。」〈命令〉

- (3) You mustn't ~. → Don't ~. 「～してはいけません。」〈禁止〉
 (4) Shall we ~? 「(私たちは)～しませんか。」 → Let's ~. 「～しましょう。」〈勧誘〉

P.35 STEP 2

- 1** (1) ア (2) エ (3) イ (4) ウ (5) エ
2 (1) have to (2) are, do (3) must not (4) Shall
3 (1) イ (2) ア (3) ウ (4) ア

【解説】

- 1** (2) 〈don't have to+動詞の原形〉「～する必要はない」
 (3) will not be able to ~ 「～できないでしょう」
 (4) What would you like? 「何が食べたい[飲みたい]ですか、何にしますか。」
 (5) Shall I ~? 「(私が)～しましょうか。」
2 (1) must ~ → have[has] to ~
 (2) 「夏休みのあなたの予定は何ですか。」 → 「夏休み中にあなたは何をするつもりですか。」
 (3) Don't ~. → You must not[mustn't] ~. 〈禁止〉
 (4) Let's ~. → Shall we ~? 〈勧誘〉
3 (4) Could you ~? 「～していただけませんか。」に対する肯定の答えは Sure. 「わかりました。」など。
 このあと具体的に場所を答えているので, Sorry, I don't know. 「すみませんが、知りません。」などはふさわしくない。

P.36

- 4** (1) may (2) must (3) will
5 (1) ウ (2) イ (3) エ
6 (1) don't have to come here
 (2) bus will take you to
 (3) I would like to join the project.
 (4) to help my sister with her
7 (1) 〔例〕 May[Can] I come in?
 (2) 〔例〕 Would you like something to eat?

【解説】

- 4** (3) I will のあとに come home by five が省略されている。
 《全訳》
 A: お母さん、公園のテニスコートへ行ってもいい? ディックとテニスがしたいんだ。
 B: いいわよ。でも5時までには帰らなければいけませんよ。
 A: わかった。帰るよ。でもどうして?
 B: 今晚は夕食に出かける予定なの。
5 与えられた文を見て、会話の流れが自然になるように順序を考える問題。
 《全訳》
 A: ご注文はお決まりですか。
 B: はい。テリヤキ・ピザをお願いします。
 A: ほかにはいかがですか。当店のスープはおいしいですよ。
 B: いいえ、結構です。
6 (1) don't have to ~ 「～する必要はない」
 (2) take ~ to ... 「～を…へ連れて行く」
 (3) would like to ~ は want to ~ よりもていねいな願望を表す表現。

(4) 〈help+(人)+with+(物)〉「(人)の(物)を手伝う」

- 7 (1) May[Can] I come in? は部屋の中の人に「入ってもいいですか。」と言うときの決まり文句。
(2) something to eat で「何か食べるもの」→「食べ物」。to eat は不定詞の形容詞的用法。

P.37 読解問題

問1 A エ B ア

問2 please

問3 ① No, isn't ② many things[a lot] about China ③ Yes, will

【解説】

問1 A Shall I ~? で「(私が)~しましょうか。」 B Shall we ~? で「(私たちは)~しませんか。」

問2 Will you ~? 「~してくれませんか。」→〈命令文, please.〉「~してください。」

問3 ① be able to ~ 「~することができる」の疑問文。本文4行目参照。

② 本文17行目に「中国について多くのことを学んでとてもうれしい。」とある。

③ Will ~? 「~でしょうか。」の疑問文。本文17~18行目参照。

《全訳》

祐二は湊^{みなと}高校の生徒です。8月のある日、彼は桜^{さくら}駅へ行く途中で、1人の男の子を見かけました。その男の子は道に迷っているようでした。祐二は彼に日本語で話しかけましたが、男の子は英語で答えました。

男の子：ごめんなさい、ぼくは日本語が話せないんだ。

祐二： ああ、きみは英語を話すんだね。

男の子：うん。ぼくの国、中国で4年間学校で英語を勉強したから。

祐二： きみは中国の出身なの？

男の子：うん、鷗^{かもめ}高校で勉強するため、3日前に日本に来たんだ。

祐二： そうなんだ。ぼくの名前は祐二。湊高校に通っているよ。

男の子：ぼくの名前はジン。よろしく、祐二。

祐二： こちらこそ、よろしく。きみは道に迷った

ようだね。助けてあげようか？

男の子：うん、お願い。桜駅へ行きたいんだけど、道がわからないんだ。

祐二： ぼくもその駅へ行くところだよ。いっしょに行こうか？

駅へ行く途中、彼らは英語でたくさん話しました。ジンは中国について多くのことを祐二に話しました。そうして彼らは駅に着きました。

ジン： どうもありがとう、祐二。

祐二： どういたしまして、ジン。中国について多くのことを学んでとてもうれしいよ。ぼくのEメールのアドレスをきみに教えるね。もしぼくの助けが必要なら、ぼくにEメールを送ってくれない？

ジン： わかった。ありがとう、祐二。すぐにそうするよ。